平成 26 年度

排出事業者と優良産廃処理業者の連携による循環産業形成支援業務

報告書

平成 27 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

【 目次 】

Ⅰ. はじめに …… 1
1. 本事業の目的 …… 1
2. 実施機関 …… 1
Ⅱ. 実施結果 …… 2
1. フォーラム/ワークショップ実施概要 …… 2
① タイトル …… 2
② 開催日時・場所 …… 2
③ 参加対象者 …… 2
④ プログラム …… 3
⑤ 会場レイアウト …… 5
2. ワークショップ企画・運営 …… 7
① 狙い …… 7
② ワークショップタイトル …… 7
③ 基本方針・実施方法 …… 7
④ タイムスケジュール …… 7
⑤ ファシリテーター …… 8
⑥ グループ編成 …… 8
⑦ 事前アンケート …… 8
⑧ プログラムデザイン …… 9
⑨ アウトプットフォーマット及び記載例 …… 15
3. 参加者招致 …… 18
① 集客目標 …… 18
② 集客方法・対象及びスケジュール …… 18
③ 申込方法 …… 20
1) 排出事業者の申込方法 …… 20
2) 処理業者の申込方法 …… 24
④ 集客結果 …… 30
⑤ 受付方針 …… 30
4. パブリシティ・メディア対応 …… 31
① 環境省ホームページへの開催結果掲載 …… 31
② メディア取材対応 …… 31
5. アンケート …… 32
① 狙い …… 32
② アンケート用紙 …… 33

③ 集計結果 ……35

III. 総括 …… 48

1. 排出事業者及び処理業者間の連携の促進について …… 48

2. 処理業者の優良認定取得の機運醸成について …… 48

3. 運営面について …… 49

【別添資料】 …… 50

Ⅰ．はじめに

1．本事業の目的

近年、各種リサイクル制度の浸透や企業各社による３R の推進により産業廃棄物のリサイクル率は増加し、最終処分量は減少してきたものの横ばいになっている。各社ゼロエミッションの目標を立て取組みを進めてきたが、一社だけでの取組みは限界にきていると考えられ、更なる３Ｒの推進ためには、排出事業者と産廃処理業者との連携・協働により、新たなリサイクル技術の開発やネットワークの構築等が必要なのではないか。

そこで、排出事業者と産廃処理業者によって構成されるフォーラムを開催し、両者による連携・協働の優良事例を紹介し、その可能性について意見交換を行った。また、排出事業者が新規に産廃処理業者を選定する際の一つのツールとなる「優良さんぱいナビ」（http://www3.sanpainet.or.jp/）について、現状の利用状況・方法について、また今後利用促進のために必要なポイントについて、意見交換を行った。

2．実施機関

本業務は、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課の企画に基づき、アミタ株式会社が環境省からの請負業務として実施した。また福岡開催については、福岡県補助事業として公益社団法人福岡県産業廃棄物協会が実施する環境セミナーとの共催により実施した。

II. 実施結果

1. フォーラム/ワークショップ実施概要

① タイトル

「環境省主催　フォーラム／ワークショップ　　創資源パートナー発掘フォーラム
～優良産廃処理業者との連携から生まれる３Ｒのカタチ～」

② 開催日時・場所

［第 1 回＜東京会場＞］

日時：平成 27 年 1 月 27 日（火）

場所：東京国際フォーラム　G409 会議室

〒100-0005　東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

［第 2 回＜名古屋会場＞］

日時：平成 27 年 1 月 30 日（金）

場所：ウインクあいち　1204 会議室

〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

［第 3 回＜福岡会場＞］

日時：平成 27 年 3 月 3 日（火）

場所：JR 九州ホール

〒812-0012　福岡県福岡市博多区博多駅中央街 1-1

③ 参加対象者

排出事業者及び優良産廃処理業者等（廃棄物処理法に規定されている優良産廃処理業者認定制度の認定を取得又は取得を検討中の業者）

④ プログラム

［東京会場］

時間	進行
13:00～13:05	開会挨拶 環境省　大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 産業廃棄物課 課長　角倉 一郎氏
13:05～13:40（35 分）	【第 1 部】基調講演 「廃棄物処理のマネジメントと戦略的連携」 北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 准教授　松永 裕己氏
13:40～14:00（20 分）	【第 2 部】優良事例プレゼンテーション 「産業廃棄物広域認定制度を活用した 医療・介護ベッド他のリサイクルスキーム事例紹介」 パラマウントベッド株式会社 営業本部 営業管理課　塩原 聡氏
14:00～14:10（10 分）	「優良さんぱいナビ」についてのご紹介: 公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 企画調査部 部長　改田 耕一氏
14:10～14:20	休憩
14:20～17:35（195 分） ※ 途中休憩(15 分)を はさみます	【第 3 部】 ワークショップ ＜プログラム＞ ・自己紹介・アイスブレーク ・グループワーク ・プレゼンテーション ・フィードバック・気付きの共有
17:35～17:40	閉会挨拶
17:40～18:00	名刺交換会 ※任意参加

［名古屋会場］

時間	進行
13:00～13:10	開会挨拶 環境省　大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 産業廃棄物課 課長　角倉 一郎氏
13:10～13:45（35 分）	【第 1 部】基調講演 「廃棄物処理のマネジメントと戦略的連携」 北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 准教授　松永 裕己氏
13:45～14:05（20 分）	【第 2 部】優良事例プレゼンテーション 「廃石膏ボードリサイクル事業のご紹介」 株式会社グリーンアローズ中部 代表取締役　山本 浩也氏
14:05～14:15（10 分）	「優良さんぱいナビ」についてのご紹介: 公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 企画調査部 部長　改田 耕一氏
14:15～14:25	休憩
14:25～17:35（190 分） ※ 途中休憩(15 分)を はさみます	【第 3 部】 ワークショップ ＜プログラム＞ ・自己紹介・アイスブレーク ・グループワーク ・プレゼンテーション ・フィードバック・気付きの共有
17:35～17:40	閉会挨拶
17:40～18:00	名刺交換会 ※任意参加

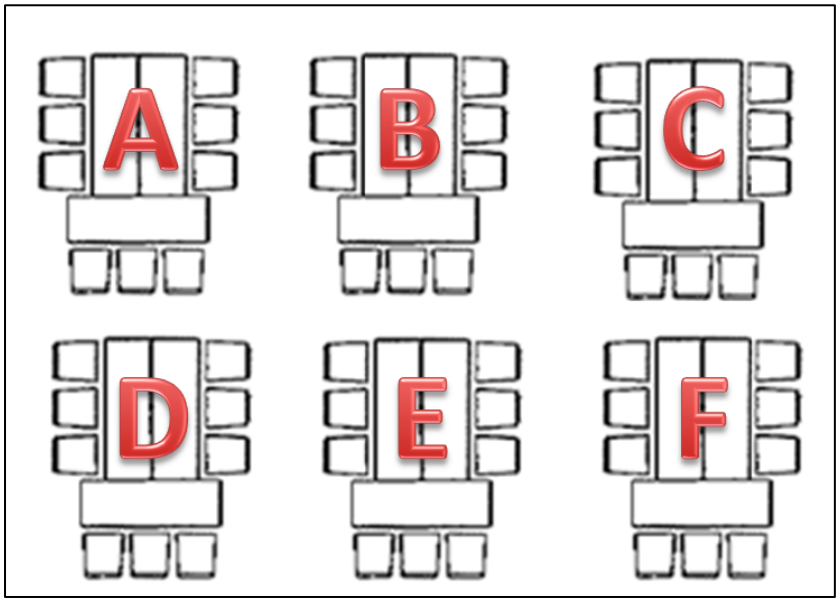
［福岡会場］※ワークショップのみ

時間	進行
15:30～18:10（160 分） ※ 途中休憩(5 分)を はさみます	【第 3 部】 ワークショップ ＜プログラム＞ ・自己紹介・アイスブレーク ・グループワーク ・プレゼンテーション ・フィードバック
18:10	閉会挨拶
18:10～18:40	気付きの共有 名刺交換会 ※任意参加

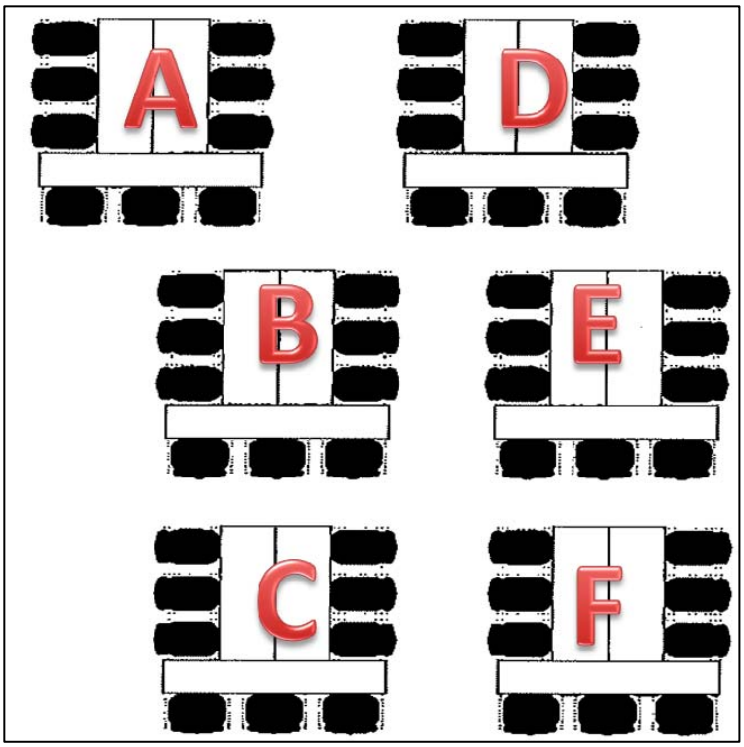
⑤ 会場レイアウト

事例紹介から円滑にワークショップに移行するため、プログラム開始時よりアイランド型のテーブル配置とした。

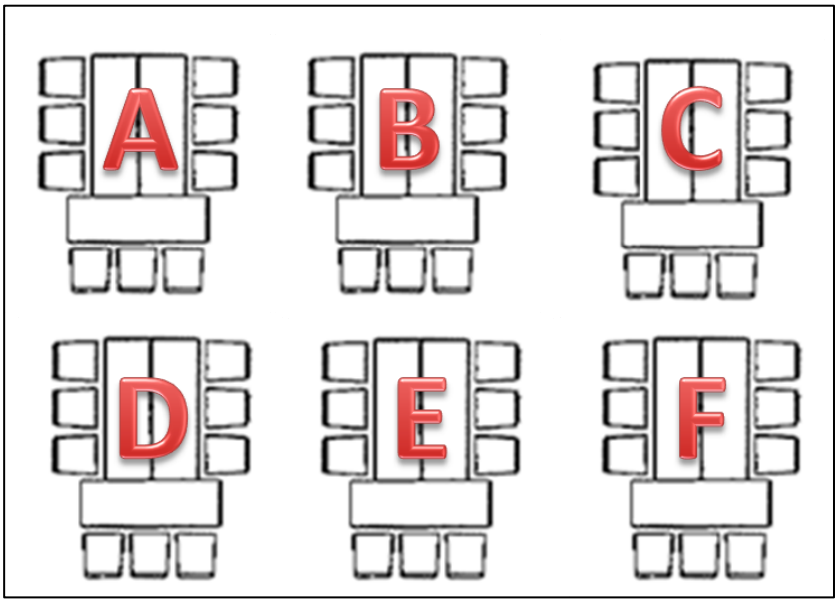
［東京会場］



［名古屋会場］



［福岡会場］



2. ワークショップ企画・運営

① 狙い

排出事業者・処理業者双方が、（可能な限り本音ベースで）それぞれの課題、事情、展望や考えていることに関する理解を深め、適正処理や更なる 3R の推進を実現するための連携・協働のあり方について気付きを得られるようにする。また優良さんぱいナビの利用状況についてのヒアリングや期待する機能等意見交換を行い、今後、より活用いただけるサイトにするためのアイデアを得る。

② ワークショップタイトル

「連携から生まれる 3Rのカタチ」

③ 基本方針・実施方法

- 廃棄物処理フローを、廃棄物の処理委託先情報収集、処理委託先の検討と決定、廃棄物の引取り・処分の 3 つに分け、排出事業者・処理業者双方の視点から各段階における現状と課題についてヒアリングを行い、双方の考え方への理解を深めることを目的とした。
- 現状の制約・立場に縛られずに、あるべき姿やできることを自由に発想する場とした（何らかの決まった答えや合意を導き出す場ではない）。また自由な発想と活発な意見交換のために、ワークショップに取組む前にアイスブレークを行い、コミュニケーションが取りやすい雰囲気作りを行った。
- グループワークの円滑な運営のため、模造紙に印字したワークシートを掲示し、意見交換を進めた。

④ タイムスケジュール

時　間	内　　容
14:20～14:25	グループワーク全体説明（5 分）
14:25～14:35	自己紹介・アイスブレーク（10 分）
14:35～15:40	【テーマ 1】 排出事業者と産廃処理業者との連携について（65 分）
15:40～15:50	休憩（10 分）

15:50～16:25	【テーマ 2】 「優良さんぱいナビ」利用状況調査と意見交換（35 分）
16:25～16:30	休憩（5 分）
16:30～17:15	発表（45 分）
17:15～17:25	フィードバック（10 分）
17:25～17:35	気付きの共有（10 分）

⑤ ファシリテーター

所属	氏名
公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 企画調査部 部長	改田　耕一　氏
公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 情報システム部 部長	柴崎　和夫　氏
アミタ株式会社 環境戦略支援営業グループ ワークデザイン営業チーム チームリーダー	田部井　進一　氏
アミタ株式会社 環境戦略支援営業グループ 関西チーム チームリーダー	末次　貴英　氏
アミタ株式会社 環境戦略支援営業グループ 関西チーム	宮原　伸朗　氏
アミタ株式会社 環境戦略支援営業グループ 東日本チーム	小峯　慎司　氏

⑥ グループ編成

8 人×6 グループを基本とし、排出事業者の業種、排出事業者と処理業者の人数のバランスを考慮してグループを決定した。

※詳細は「資料 1. 参加者グループリスト及び事前アンケート一覧」参照

⑦ 事前アンケート

グルーピングやワークショップの効果的な進行のための基礎情報として、参加申込み時に以下の質問項目に回答してもらうようにした。

≪属性≫ 業種、業務内容

≪以下、資源の循環・有効利用に関して≫

A）これまでに自社で排出事業者／処理業者等と連携・協働して実施した取組み事例

B）現在の課題意識や今後取組みたいテーマ

C）本イベントに期待すること

福岡開催は公益社団法人福岡県産業廃棄物協会との共催のため、集客や申込みを共同で行った。公益社団法人福岡県産業廃棄物協会では申込みを主に FAX にて受付けており、紙面の関係上、上記Ｂ）のみ回答いただいた。

※詳細は「資料 1. 参加者グループリスト及び事前アンケート一覧」参照

⑧ プログラムデザイン

開始時間	所要時間	内　　容
―	―	<u>準備するもの</u> 模造紙 3 種類：ワークシート 1～3 付箋、マーカー、サインペン（各班 10 本程度） <u>ホワイドボードの利用方法</u> ・テーマ 1）に関するワークシートを 2 種類、テーマ 2）に関するワークシート 1 種類を用意した。それぞれ模造紙に印字し、グループワークの円滑化を図る。 ・ホワイドボードの表にワークシート 2、その上にワークシート 1 を貼る。ワークシート 1 への記入後、ワークシート 1 をめくり、ワークシート 2 を掲示する。 ・ホワイトボードの裏にワークシート 3 を添付する。ワークシート 2 のワーク終了後、ホワイトボードを回転させ、ワークシート 3 を掲示する。
14：20 14：25	5 分 10 分	ワークショップ開始の挨拶 グループワークはファシリテーターにより進めるため、進行を交代。 <u>自己紹介</u> 〇進め方 1）各グループに配置された自己紹介シートを各参加者に配布する。 自己紹介シートには、以下 4 点のうち、申込み時の事前アンケートで回答された上記 3 点を印字している。 ・企業名・名前

<table>
<tr><td></td><td></td><td>・業務内容
・ワークショップに期待すること
・最近気になること
※一部 FAX 用紙で申し込まれた参加者は記載されていないため、その場で記入するように伝える。
2) 各参加者に、4 つ目の枠に「最近気になること」への記入してもらう。
3) 自己紹介の実施。まずはファシリテーターが例を見せる。
〇自己紹介シート（A4）
<table><tr><td>企業名・名前</td><td>業務内容</td></tr><tr><td>本ワークショップに
期待すること</td><td>最近気になること</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="3">テーマ 1）排出事業者と産廃処理業者との連携について</td></tr>
<tr><td>14：35</td><td>5 分</td><td><u>テーマ 1）について進め方の説明</u>
〇進め方
1）テーマ 1）の目的の説明、ワークシート 1、2 を使い、進め方の説明を行う。
2）個人ワークについての説明を行う。</td></tr>
<tr><td>14：40</td><td>10 分</td><td>個人ワーク
各人、現状の排出事業者/処理会社のコミュニケーションの現状や課題、理想について付箋に記載してもらうよう伝える。
※別紙「テーマ 1 ファシリテーター用想定回答」参照し、手が止まっている参加者がいれば、想定回答の中から 2 つ 3 つキーワードを出しヒントを提示する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>14：50</td><td>30 分</td><td>

<u>ワーク Ⅰ：現状についての意見交換</u>

模造紙に付箋を貼りながら個人ワークの内容を発表してもらう。

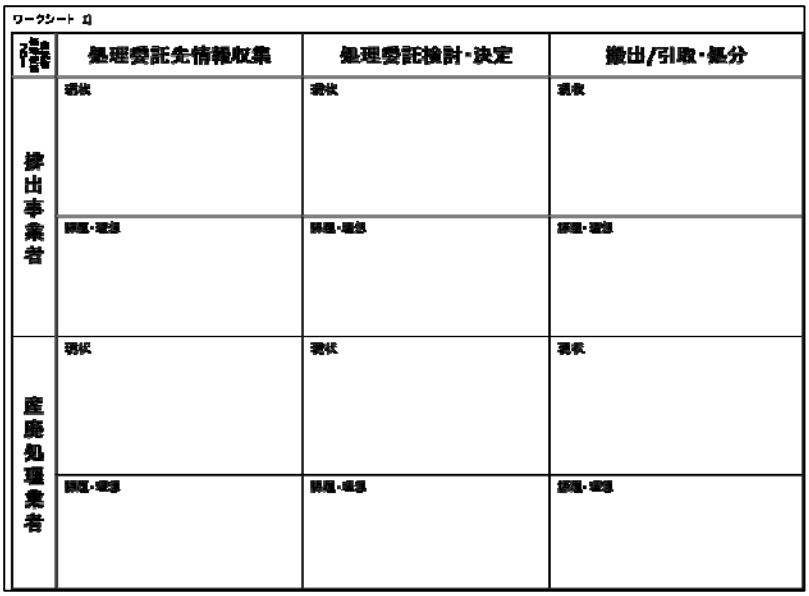


図 1：ワークシート 1

</td></tr>
<tr><td>15：20</td><td>10 分</td><td>

<u>ワーク Ⅱ：課題や理想を抽出</u>

出てきた意見の中から、廃棄物処理を進める上での課題や理想のあり方に関するコメントの記入されている付箋を「課題・理想」欄へ移動。排出事業者・処理業者のそれぞれで行う。

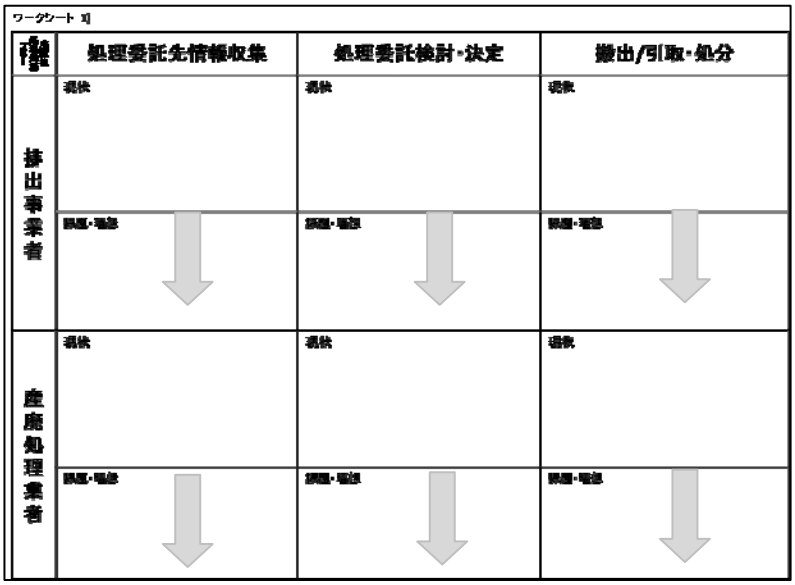


図 2：ワーク Ⅱ の説明

※確実にワークショップを進行するため、司会より時間を伝える。

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>15：30</td><td>10 分</td><td>
<u>ワークⅢ：</u>
<u>適正処理と更なる 3R 推進のために重要な、3 つのポイント</u>
排出事業者と処理業者との理想の連携のために重要な 3 点を検討し、理想の連携ポイントについてワークシート 2 に記入する。
<table>
<tr><td colspan="4">ワークシート 2)
適正処理と更なる3R推進のために重要な、3つのポイント</td></tr>
<tr><td>処理委託先情報収集</td><td>処理委託検討・決定</td><td>搬出/引取・処分</td></tr>
<tr><td>排出事業者</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>産廃処理業者</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
図 3：ワークシート 2

※この時に発表者を決める。
※ワークシート 2 への記入はファシリテーターが行うこととするが、その他希望者がいれば交代も可能。
※確実にワークショップを進行するため、司会より時間を伝える。
</td></tr>
<tr><td>15:40</td><td>10 分</td><td>休　憩　（10 分）
※ここで休憩としなくても、班の進行状況によって休憩を取る。</td></tr>
<tr><td colspan="3">テーマ 2)「優良さんぱいナビ」利用状況調査と意見交換</td></tr>
</table>

15：50	25 分	**<u>テーマ 2)について目的と進め方の説明</u>** ○進め方 1)ワークシート 3 を使い、テーマ 2）の目的、進め方の説明を行う。 ※ファシリテーターが下記シートに直接記入する。 ※別紙「テーマ 2 ファシリテーター用想定回答」を参照し、意見が出てこない場合に、ヒントとなるキーワードを伝える。

ワークシート 3)

	利用の有無		人数	理　由	活用方法	利用促進のために必要なこと
排出事業者	あり					
	なし					
産廃処理業者	優良認定事業者	活用している				
		活用していない				
	未取得事業者	認定取得者と理由				

図 4：ワークシート 3

○ワークシート 3 への記入内容と質問方法

<u>質問 1)排出事業者の利用状況の確認</u>

①：利用している人/していない人を挙手にて人数把握をし、「人数」欄に記入する。

②：利用している理由をヒアリングし記入する。

③：利用していない理由をヒアリングし記入する。

ex）知らなかった。使い方が分からない

<u>質問 2)処理業者の利用状況確認</u>

④：活用している人/していない人を挙手にて人数把握をし、「人数」欄に記入する。

⑤：活用している理由をヒアリングし記入する。

⑥：活用していない理由をヒアリングし記入する。

16：15	10 分	⑦：優良認定未取得業者への認定取得希望理由をヒアリングし 記入する。 <u>質問 3)理想の活用方法について意見交換</u> 優良さんぱいナビについて、追加してほしい機能等意見をもらい ワークシートに記入する。 <u>質問 4）利用促進のために必要なことについて意見交換</u> 優良さんぱいナビがより活用されるためのアイデアを出す。 ※確実にワークショップを進行するため、司会より時間を伝える。
16：25	5 分	休　憩　（5 分） ※ここで発表用ホワイトボードの準備をします。
16：30	45 分	<u>グループ発表</u>　（7 分×6 班） ワークシート 2 を基にテーマ 1）について出てきた課題、理想の 3 つのポイントと、ワークシート 3 を基に優良さんぱいナビの利用への課題と提案という流れで各班より発表いただく。
17：15	10 分	松永先生、ファシリテーター代表より総評をいただく
17：25	10 分	<u>気付きの共有</u> 各グループの発表、及び松永先生、環境省からのフィードバックを聞いて、各自が思ったことを発表させる。 ※時間がなければ、数人指名し、話してもらう。
17：35	―	ワークショップ終了

⑨ アウトプットフォーマット及び記載例

【ワークシート１：現状の課題や理想の連携について】

ワークシート 1)

各種情報の記載	処理委託先情報収集	処理委託検討・決定	搬出/引取・処分
排出事業者	現状	現状	現状
	課題・理想	課題・理想	課題・理想
産廃処理業者	現状	現状	現状
	課題・理想	課題・理想	課題・理想

【ワークシート２：理想の連携のための重要項目の検討】

ワークシート 2)

適正処理と更なる3R推進のために重要な、3つのポイント

各種情報の記載	処理委託先情報収集	処理委託検討・決定	搬出/引取・処分
排出事業者			
産廃処理業者			

【ワークシート３：優良さんぱいナビの利用状況に関するヒアリングシート】

ワークシート3)

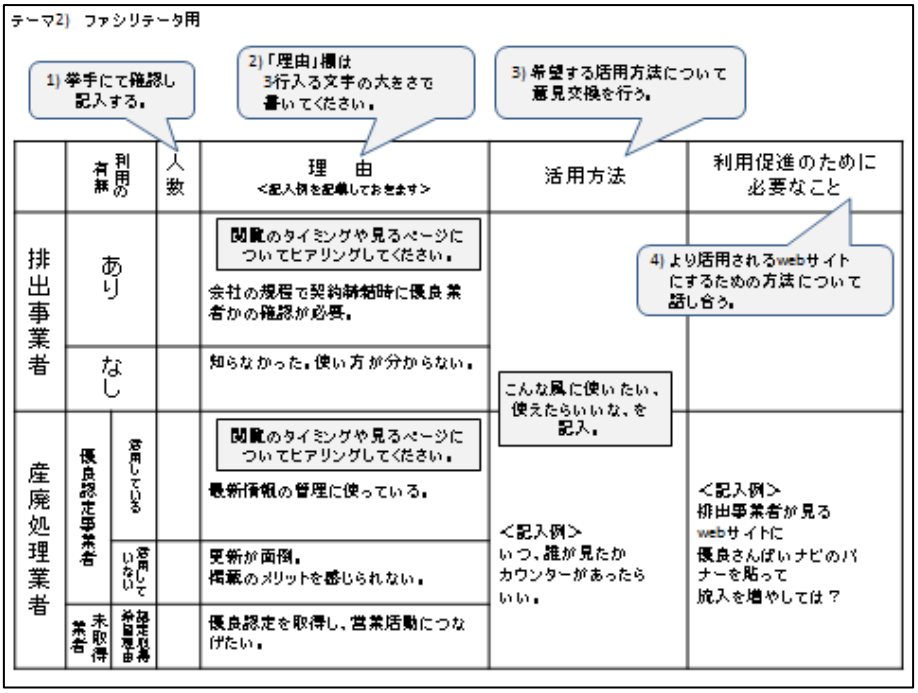
	利用の有無		人数	理　由	活用方法	利用促進のために必要なこと
排出事業者	あり					
	なし					
産廃処理業者	優良認定事業者	活用している				
		活用していない				
	未取得業者	認定取得予定理由				

【ワークシート１：記載例】

テーマ1)　ファシリテータ用　想定回答

	契約前	契約締結	契約締結後
産業用	処理委託先情報収集	処理委託検討・決定	搬出/引取・処分
排出事業者	排出事業者が新規に処理委託先を検討する場合の情報収集の方法、ツールについて聞く	排出事業者は何を持って検討する処理委託先を2・3社に絞るか、最終的に一社に決定するポイントについて聞く	実際に搬出/引取はどのようなタイミングで連絡するか、連絡の内容や処分時のトラブルについての対処方法について聞く
	現状 ・処理委託先の情報収集をどのように行っているか？ Ex) ・優良さんぱいナビ ・その他使っているwebサイト ・口コミ ・既存の処理委託先に聞く →新規の処理委託先を検討する場合について話を聞ってください。	現状 ・提供する情報 ・WEB使用の有無 ・廃棄物のサンプル提供の有無 ・重を場確認の有無 ・実地確認のタイミングや方法 ・活用調査のタイミング ・契約締結方法 ・評価基準	現状 ・引を渡し時のやりとり Ex) ・立ち合い ・マニフェストと現物の照合 ・マニフェストの返送確認 ・定期的な実地確認の実施有無
	課題	課題	課題
	現状に貼られた付箋からピックアップしてください。		
産廃処理業者	現状 ・排出事業者へどのようにアプローチしているか？	現状 ・どのように廃棄物の情報を得ているか ・排出事業者が評価していると考えるポイント ・PRしている点	現状 ・検品のタイミング ・問題(混入等)がある場合の対応方法 ・問題があった場合の対応方法 ・次回に向けた提案 Ex)　荷姿の変更、分別方法
	課題	課題	課題
	現状に貼られた付箋からピックアップしてください。		

【ワークシート２：記載例】



※上記記入例については、事前にファシリテーターに配布し、参加者からの意見出しのヒントとして活用できるようにした。

3. 参加者招致

① 集客目標

参加者枠は、各会場とも、排出事業者、処理業者（優良産廃処理業者もしくは認定取得を検討中の事業者）各 25 名だが、当日までのキャンセル発生を見込み、各 27 名（各テーブル最大 9 名とする）を集客目標とした。

② 集客方法・対象及びスケジュール

東京・名古屋会場と福岡会場と内容が異なるため、個別に告知し集客を行った。

[東京・名古屋会場]

実施日	集客対象	施策
H26.11.12	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 11,011 件）
H26.11.26	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 8,940 件）
H26.12.1	排出事業者	「リサイクル通信」FAX 通信号外配信 （配信先：排出事業者 7,241 件）
H26.12.3	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信 （配信先：主に排出事業者 4,232 件）
H26.12.10	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 11,078 件）
H26.12.17	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信 （配信先：主に排出事業者 4,227 件）
H26.12.24	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 8,987 件）
H26.12.26	排出事業者及び処理業者	環境省記者発表 フォーラム／ワークショップ 「創資源パートナー発掘フォーラム　～優良産廃処理業者との連携から生まれる３Ｒのカタチ～」の開催及び参加者の募集について（お知らせ） https://www.env.go.jp/press/100107.html
	処理業者	産廃情報ネット「さんぱいくん」処理業者ユーザーへのメール「産廃短信」配信（公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団より）

		（配信先：処理業者ユーザー4,874 件）
	排出事業者	産廃情報ネット「さんぱいくん」排出事業者向けメール配信（公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団より） （配信先：情報管理サービスユーザー2,514 件）
H27.1.14	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 9,043 件）
H27.1.21	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信 （配信先：主に排出事業者 4,363 件）

[福岡会場]

実施日	集客対象	施策
H27.1.21	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信 （配信先：主に排出事業者 4,363 件）
H27.1.28	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 9,049 件）
H27.1.30	排出事業者及び処理業者	環境省記者発表 セミナー／ワークショップ「環境セミナー　～連携から生まれる３Ｒのカタチ～」の開催及び参加者の募集について（お知らせ） http://www.env.go.jp/press/100263.html
H27.2.2	排出事業者	「リサイクル通信」FAX 通信号外 TOPIX 配信 （配信先：排出事業者 7,328 件）
H27.2.4	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン号外配信 （配信先：愛知以西の排出事業者 4,950 件）
	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信 （配信先：主に排出事業者 4,298 件）
H27.2.5	処理業者	産廃情報ネット「さんぱいくん」処理業者ユーザーへのメール「産廃短信」配信（公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団より） （配信先：処理業者ユーザー4,874 件）
	排出事業者	産廃情報ネット「さんぱいくん」排出事業者向けメール配信（公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団より） （配信先：情報管理サービスユーザー2,514 件）
H27.2.12	排出事業者	「おしえて！アミタさん」メールマガジン通常号配信 （配信先：排出事業者 11,413 件）
H27.2.18	排出事業者	「CSR JAPAN ニュース」メールマガジン通常号配信

		（配信先：主に排出事業者 4,392 件）

③ 申込方法

CSR・環境業務お役立ちサイト「おしえて！アミタさん」ウェブサイト、優良さんぱいナビウェブサイトへ申込みフォームを設置した。申込み受付業務と事前アンケートの集計業務の効率化のため、申込みフォームは同じものを利用した。

1）排出事業者の申込方法

主に排出事業者に対して集客を行うため、事務局の運営する「おしえて！アミタさん」ウェブサイトを利用した。トップページの「CSR・環境業務お役立ち情報 最新記事」に掲載するとともに、セミナータブ内に下記の通り掲載を行った。

［「おしえて！アミタさん」申込みページトップ画面］（平成 26 年 11 月 11 日公開）
※サンプルとして東京会場・名古屋会場用のみ掲載。福岡会場も同様に掲載（平成 27 年 1 月 20 日公開）。

愛知東京 開催

【環境省主催　フォーラム/ワークショップ】創資源パートナー発掘フォーラム　～優良産廃処理業者との連携から生まれる3Rのカタチ～

いいね！ 1　ツイート 3

「ゼロエミッションを達成・維持をしているが、これ以上何をすればよいか分からない。」
「既存の処理委託先で処理できない廃棄物が発生した。新たな処理会社の良い選び方が分からない。」

長年3Rに取組む中で、このようなお悩みをお持ちの環境ご担当者様も多いのではないでしょうか。

排出事業者が産廃処理会社を選択するツールの一つには、優良産廃処理会社の認定会社が掲載されている「優良さんぱいナビ」があり、認定会社が発信する廃棄物処理関連情報がその選択のキーワードとして活用されているところです。

両者がより連携することは、新たなリサイクル技術の開発やネットワークの構築を可能とし、排出事業者の課題解決につながるのではないか？そしてそのために必要なことは何か？

このたび、排出事業者と産廃処理会社がそれぞれの立場から意見交換し、連携・協働について考えるフォーラムを開催いたします。

前回の開催後には、処理困難な廃棄物について排出事業者と処理会社でリサイクルのための研究会が発足されたケースもありました。現在の処理会社（もしくは排出事業者）との連携に課題を感じる方や、新たに産廃処理会社（もしくは排出事業者）を見つけたい方はぜひお越しください！

対象

環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
優良産廃処理会社もしくは優良産廃処理業の認定取得を検討中の処理会社の方（※）

※ 優良産廃処理業者認定制度推進の観点から条件を設定させていただいております。認定取得を検討されている段階でも申し込みいただけます。

プログラム

第1部（13：00～13：40）　基調講演　「廃棄物処理のマネジメントと戦略的連携（仮）

環境ビジネスやソーシャルビジネスの観点から、廃棄物処理業を維持・発展させて

5分の準備で、充実の社内教育！
廃棄物管理がよく分かるDVD
廃棄物処理法 平成22年度改正対応

近日開催セミナー

2015通年 開催
廃棄物管理の法と実務セミナー【2015年スケジュール】

2015 通年 開催
環境関連法セミナー【2015年スケジュール】

2015年　通期 大阪東京 開催
初心者から管理者まで、アミタのCSRセミナー【2015年スケジュール】

すべてのセミナーを見る

テーマから記事を探す

廃棄物リサイクル
廃棄物リサイクル技術、廃棄物の知識、機能破壊、スマートリサイクル
廃棄物管理・廃掃法
優良事業者認定制度、産業廃棄物マニフェスト、現地確認、産業廃棄物処理委託契約書、電子マニフェスト
環境関連法・環境対策
地球温暖化対策（省エネ）、化学物質対策（PRTR REACH）、土対法、大防法、水濁法
自然環境保全・エコラベル
生物多様性、森林保全、FSC森林認証、MSC漁業認証
CSR・地域コミュニケーション
レポート、組織・体制、マーケティング、ISO26000、CSR・CSV・環境教育、地域活性、

担当者の声

お客様の声に応えて、脱水処理施設設置に挑戦
第一カッター興業株式会社　常務取締役　営業本部長　高橋 正光氏

廃棄物管理の仕事は、責任ある社会との接点
カルビー株式会社　生産本部環境対策部　部長　高橋 正博様　/黒瀬　光代様

「点」をつなげ、ストーリーにしてCSRを発信していきたい
サッポロホールディングス株式会社　グループリスクマネジメント部 CSR社会環境グループ　マネージャー 三堀将氏

すべての環境担当者の声を見る

日刊おしえて！アミタさん 人気記事ランキング

2013/08/06 更新
産業廃棄物を有価で売却するのですが、その代金よりも輸送費の方が高くなってしまいました。この場合、廃棄物処理法は適用されるのでしょうか？

2013/03/28 更新
産業廃棄物処理委託契約書には、法律で決められている記載事項があると聞いたのですが？

2010/07/26 更新
もし廃棄物処理法違反が発生した場合、どのような罰則を受ける可能性がありますか？

NPO/NGO

主要会場からセミナーを探す

熊本
神奈川
福岡
群馬
茨城
静岡
兵庫
北海道
千葉
埼玉
大阪
宮城
山口
岡山
広島
愛知
愛媛
東京
栃木
三重
京都

産業廃棄物処理業 行政処分情報

何からやればいいのか分からない… 初心者向け記事一覧

わかりやすい！産廃マニフェスト解説記事 総集編

甘くみると怖い 廃棄物に係るリスク特集

いくためのポイントや、事業発展のための戦略的連携のあり方についてお話いただきます。

第2部（13：40～14：00） 排出事業者と処理会社の連携事例紹介

排出事業者と産廃処理会社が連携して3Rに成功している事例と成功のポイントについてお話いただきます。

第3部（14：20～17：35）ワークショップ 「連携から生まれる3Rのカタチ」

更なる3Rの推進のため、排出事業者と産廃処理会社との「連携・協働」についてどのようなアプローチが考えられるか、様々な視点からアイデアを膨らませ、今後の展開を模索します。
また、連携の一つの指針に、産廃処理会社の優良産廃処理業者認定制度や情報収集のツール「優良さんぱいナビ」があります。本サイトを上手く活用するための方法についても、意見交換を行います。

※17:40（閉会）、18:00まで名刺交換等のお時間を用意しております。

開催

（1）東京開催

開催日時	2015年1月27日（火）13:00～18:00（開場 12:30～）
会場	東京国際フォーラム G409 （住所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号）
参加費	無料
定員（予定）	排出事業者枠：25名 処理会社枠：25名

（2）名古屋開催

開催日時	2015年1月30日（金）13:00～18:00（開場 12:30～）
会場	ウインクあいち 1204会議室 （住所：愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）
参加費	無料
定員（予定）	排出事業者枠：25名 処理会社枠：25名

※福岡での開催予定についてはこちらを参照ください。

お申し込み方法

お申込みはこちら

※FAXでのお申し込みはこちら
（Web経由でのお申込みができない場合は、上記FAXにてお申込みをお願いいたします。）

2014/05/13 更新
廃プラスチックとは何でしょうか？どんなリサイクル方法等がありますか？

2011/08/23 更新
誰も教えてくれない「再委託」のカラクリ（その1）―「再委託」はなぜ禁止？

講師

第一部

松永　裕己氏
北九州市立大学　大学院
マネジメント研究科准教授

1969年、佐賀県生まれ。1998年、九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。同年、北九州市立大学へ。2011年より現職。専門は、環境ビジネス、ソーシャルビジネス。

第二部

【東京会場】
塩原　聡　氏
パラマウントベッド株式会社
営業本部　営業管理課

【名古屋会場】
山本 浩也氏
株式会社グリーンアローズ中部
代表取締役

お問い合わせ

アミタグループ　お問い合わせ担当
〒102-0073　東京都千代田区九段北三丁目2番4号
TEL: 0120-936-083(フリーコール)　／　FAX: 03-5215-8505
メールアドレス: ecobrain@amita-net.co.jp
業務責任者:「創資源パートナー発掘フォーラム　～優良産廃処理業者との連携から生まれる3Rのカタチ～」事務局

2）処理業者の申込方法

主に処理業者に対して集客を行うため、優良産廃処理業者認定制度の認定業者が利用する「優良さんぱいナビ」ウェブサイトを利用した。

［「優良さんぱいナビ　申込みページトップ画面」］
※サンプルとして福岡会場告知用ページを掲載（平成 27 年 2 月 5 日公開）。東京会場・名古屋会場も同様に掲載（平成 26 年 12 月 26 日公開）。

トップ | 中間処理業者を探す | 収集運搬業者を探す | 最終処分業者を探す | 業者名・住所から探す

環境省主催　セミナー／ワークショップ

「環境セミナー　～連携から生まれる３Rのかたち～」の開催及び参加者の募集について

環境省では産業廃棄物の更なる３Ｒの推進のため、新たなリサイクル技術の開発やネットワークの構築等、排出事業者と産廃処理業者との連携・協働の可能性について、意見交換を行うために「創資源パートナー発掘フォーラム～優良産廃処理業者との連携から生まれる３Ｒのカタチ～」を昨年度に引き続き開催いたします。

セミナーでは、テレビや雑誌などで活躍中で元通産官僚の岸 博幸氏から日本経済と環境について特別講演を行っていただく他、優良産廃処理業者認定制度の創設に携わった上智大学法科大学院長　北村 喜宣氏から排出事業者と産廃処理業者の連携について講演いただき、また、優良産廃処理業者認定制度の優良認定業者の立場から、(株)クリーンセンターが排出事業者との連携事例の紹介を行います。

また、本セミナーの一環として行うワークショップは、排出事業者と優良な産廃処理業者が一同に介して意見交換を行うこれまでにない取組であり、更なる３Ｒの推進に向けた課題解決のためにどのように連携・協働していけばよいのか、それぞれの立場から連携の橋渡し役となる「優良さんぱいナビ※」の利用状況や活用方法などについて意見交換を行います。

なお、今回のセミナーは、公益社団法人福岡県産業廃棄物協会との共催により開催いたします。

概要

日時　平成27年3月3日（火）12:30～18:10（開場12:00～）
場所　ＪＲ九州ホール
〒100-0005　福岡県福岡市博多区博多駅中央街１－１
http://www.jrhakatacity-eventspace.jp/hall/
内容　第一部　セミナー「排出事業者・処理業者、連携のススメ」
特別講演　岸　博幸氏　「どうなる日本経済！？そして環境」
基本講演　北村　喜宣氏　「排出事業者・処理業者連携のススメ」
優良産廃処理業者事例紹介　(株)クリーンセンター　酒田　雅央氏
第二部　ワークショップ「連携から生まれる３Ｒのカタチ」
参加費　無料

募集

本イベントは、以下のいずれかに該当する排出事業者及び処理業者の方が対象となります。

○第一部：セミナー「排出事業者・処理業者、連携のススメ」（定員300名）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 産業廃棄物処理業者の経営者・管理者

○第二部：ワークショップ「連携から生まれる３Ｒのカタチ」（それぞれ25名ずつ）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者もしくは優良産廃処理業の認定取得を検討中の処理業者の方

ワークショップへの参加に当たって、簡単な事前アンケートにご協力いただきます。

参加申込み方法

以下ＵＲＬの入力フォームよりお申込みください。
https://business.form-mailer.jp/fms/e28af62337870
業種の極端な偏り等が生じた場合など、ワークショップのグループ編成における都合により、開催日の2週間前を目処にお断りのご連絡をさせていただくケースがございます。
深夜24:00～6:00の時間帯はお申込ができません。

お問い合わせ

「創資源パートナー発掘フォーラム　～優良産廃処理業者との連携から生まれる３Ｒのカタチ～」事務局（本事業の請負事業者）
〒102-0073　東京都千代田区九段北三丁目2番4号 アミタ株式会社内
TEL：03-5215-8267
メールアドレス:ecobrain@amita-net.co.jp

募集

本イベントは、以下のいずれかに該当する排出事業者及び処理業者の方が対象となります。

○第一部：セミナー「排出事業者・処理業者、連携のススメ」（定員300名）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 産業廃棄物処理業者の経営者・管理者

○第二部：ワークショップ「連携から生まれる３Ｒのカタチ」（それぞれ25名ずつ）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者もしくは優良産廃処理業の認定取得を検討中の処理業者の方

ワークショップへの参加に当たって、簡単な事前アンケートにご協力いただきます。

募集

本イベントは、以下のいずれかに該当する排出事業者及び処理業者の方が対象となります。

○第一部：セミナー「排出事業者・処理業者、連携のススメ」（定員300名）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 産業廃棄物処理業者の経営者・管理者

○第二部：ワークショップ「連携から生まれる３Ｒのカタチ」（それぞれ25名ずつ）

- 環境業務に携わる本社・事業場の廃棄物管理担当者の方
- 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者もしくは優良産廃処理業の認定取得を検討中の処理業者の方

ワークショップへの参加に当たって、簡単な事前アンケートにご協力いただきます。

参加申込み方法

以下ＵＲＬの入力フォームよりお申込みください。
https://business.form-mailer.jp/fms/e28af62337870
業種の極端な偏り等が生じた場合など、ワークショップのグループ構成における都合により、開催日の2週間前を目処にお断りのご連絡をさせていただくケースがございます。
深夜24:00～6:00の時間帯はお申込ができません。

お問い合わせ

「創資源パートナー発掘フォーラム　～優良産廃処理業者との連携から生まれる３Ｒのカタチ～」事務局（本事業の請負事業者）
〒102-0073　東京都千代田区九段北三丁目2番4号 アミタ株式会社内
TEL：03-5215-8267
メールアドレス:ecobrain@amita-net.co.jp

取材について

取材を希望される場合は、別紙「取材申込書」にて、お申込みください。
なお、ワークショップのディスカッション部分に関しては取材・撮影をお控えいただきます。予めご了承ください。
・〆切り　平成27年3月2日（月）午後３時

※優良さんぱいナビ
排出事業者が産廃処理業者を選択するツールの一つとして、優良認定を受けた処理業者が掲載されている情報発信サイトであり、認定業者が発信する廃棄物処理関連情報がその選択のキーワードとして活用されている。

プログラム

- 開会あいさつ　環境省、公益社団法人福岡県産業廃棄物協会
- 第1部 セミナー「排出事業者・処理業者連携のススメ」

【特別講演】どうなる日本経済！？ そして環境

【講師】岸 博幸 氏

1962年東京都生まれ。一橋大学経済学部卒業後、通商産業省（現・経済産業省）入省。通産省在席時にコロンビア大学経営大学院に留学し、
得。資源エネルギー庁長官官房国際資源課等を経て、２００１年、第一次小泉内閣の経済財政政策担当大臣だった竹中平蔵氏の大臣補佐官に就
後、江田憲司衆議院議員や元財務官僚の高橋洋一氏らと共に「官僚国家日本を変える元官僚の会（脱藩官僚の会）」を設立。以降、「脱藩官僚」と
や雑誌で活躍中。

【基本講演】排出事業者・処理業者連携のススメ

【講師】北村 喜宣 氏

1960年京都府生まれ。神戸大学法学院法学研究科博士課程前期課程修了、カリフォルニア大学バークレイ校大学院「法と社会政策」研究科修
後、横浜国立大学経済学部専任講師、同助教授を経て、現在、上智大学法科大学院長。優良産廃処理業者認定制度創設に、産業廃棄物処理業優
員会委員長として携わった。

【優良産廃処理業者事例紹介】

株式会社クリーンセンター 代表取締役 酒田 雅夫 氏

- 第2部 ワークショップ「連携から生まれる３Ｒのカタチ」

更なる3Rの推進のため、排出事業者と産廃処理業者との「連携・協働」という観点からどのようなアプローチが考えられるか、様々な視点からアイデアを膨らませ、今後の展開を模索します。 また、連携の一つの指針として優良産廃処理業者認定制度や情報収集のツールとして「優良さんぱいナビ」があります。これらを上手く活用するための方法について、意見交換を行います。

<プログラム>
・自己紹介・アイスブレーク（20分）
・グループワーク（90分）
・プレゼンテーション（各グループ3分程度）
・フィードバック・「気付き」の共有（10分）

※ワークは6つのグループに分かれて行い、進行はファシリテーターが担当します。

講評

（注意事項）
・カリキュラム・講師は変更となる可能性がございます。
・天候によって、開催を中止、または延期させていただく場合がございます。
・講義の録音、撮影はご遠慮ください。
・メディアの取材・撮影が入る場合がございます。

- 優良さんぱいナビについて　- 産廃業者の方の新規登録について　- 利用者の皆様へ

［申込みフォーム］　https://business.form-mailer.jp/fms/e28af62337870

「創資源パートナー発掘フォーラム」 お申し込みフォーム

※ワークショップのグループ編成により業種等の偏りが出た場合は、お申込の時期に関わらず、当日の2週間前を目処にお断りのご連絡をするケースがございます。

ワークショップの概要詳細は以下をご覧ください。
URL:
http://www.amita-oshiete.jp/seminar/entry/002069.php（東京・名古屋開催）
http://www.amita-oshiete.jp/seminar/entry/002146.php（福岡開催）

* は必須項目です

* 参加希望セミナー
- ○ 福岡[3月3日（火）開催] 第1部第2部ともに参加
- ○ 福岡[3月3日（火）開催] 第2部のみ参加

* 会社名・団体名

事業所名

* 所属部署

* 業種

記入例：鉱業製造業、石油製品・石炭製品製造業、産業廃棄物処理業etc

* 業務内容（担当業務）

「創資源パートナー発掘フォーラム」 お申し込みフォーム

※ワークショップのグループ編成により業種等の偏りが出た場合は、お申込の時期に関わらず、当日の2週間前を目処にお断りのご連絡をするケースがございます。

ワークショップの概要詳細は以下をご覧ください。
URL:
http://www.amita-oshiete.jp/seminar/entry/002069.php（東京・名古屋開催）
http://www.amita-oshiete.jp/seminar/entry/002146.php（福岡開催）

* は必須項目です

* 参加希望セミナー
- ○ 福岡[3月3日（火）開催] 第1部第2部ともに参加
- ○ 福岡[3月3日（火）開催] 第2部のみ参加

* 会社名・団体名

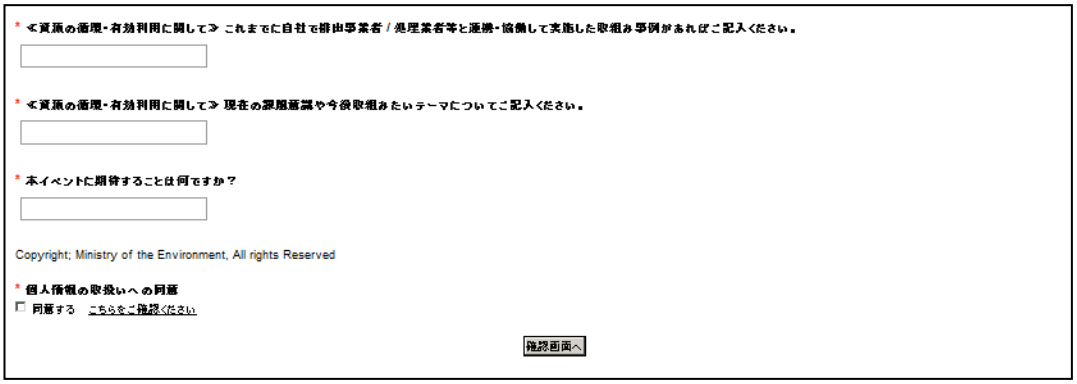
事業所名

* 所属部署

* 業種

記入例：鉱業製造業、石油製品・石炭製品製造業、産業廃棄物処理業etc

* 業務内容（担当業務）



* ＜資源の循環・有効利用に関して＞ これまでに自社で排出事業者 / 処理業者等と連携・協働して実施した取組み事例があればご記入ください。

* ＜資源の循環・有効利用に関して＞ 現在の課題意識や今後取組みたいテーマについてご記入ください。

* 本イベントに期待することは何ですか？

Copyright; Ministry of the Environment, All rights Reserved

* 個人情報の取扱いへの同意

☐ 同意する　こちらをご確認ください

確認画面へ

［申込み内容確認連絡］※自動応答メールにて対応。

○○　○○様

平素より大変お世話になっております。

この度は、「創資源パートナー発掘会議　～連携から生まれる 3R のカタチ～」をお申し込みただき誠にありがとうございます。
只今、お申し込み受付が完了いたしましたことお知らせいたします。

※本メールに心当たりのない場合やご不明な点がある場合は、
　お手数ですがアミタグループお問合せ担当までご連絡ください。

今後とも、ご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

※アミタグループに facebook ページができました。
 http://www.facebook.com/amitagroup

アミタグループ　お問合せ担当
〒102-0073　東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
TEL：　0120-936-083(フリーコール)　／　FAX：　03-5215-8505
メールアドレス：　ecobrain@amita-net.co.jp

④ 集客結果

		排出事業者 参加企業数(参加人数) ※定員 25 名	処理業者 参加企業数(参加人数) ※定員 25 名
東京会場	申込み	30 社(32 名) (定員超過のためうち 1 社お断り)	20 社(23 名)
	当日参加	28 社(30 名) (事例発表企業 1 名、 途中退席 1 名も含む)	17 社(20 名) (福岡会場事例発表企業 1 名も含む)
名古屋会場	申込み	27 社(28 名)	24 社(24 名)
	当日参加	24 社(25 名)	22 社(22 名) (事例発表企業 1 名も含む)
福岡会場	申込み	22 社(22 名)	26 社(26 名)
	当日参加	18 社(18 名)	24 社(24 名) (当日参加 1 名含む)

⑤ 受付方針

- 基本的には先着順での受付とし、原則として排出事業者、処理会社それぞれ 28 名を超えた時点でキャンセル待ちとする方針とした。
- 優良産廃処理業者を特に優先することはしないものとした。
- お断りする場合、イベント当日の 2 週間前［東京 1/13（火）・名古屋 1/16（金）・福岡 2/17（火）］までに申込者への連絡をするものとした。また、参加者へは当日の 1 週間前［東京 1/20（火）・名古屋 1/23（金）・福岡 2/24（火）］までに参加証を送信した。送信方法については東京・名古屋は、弊社よりメールにて送信し、福岡は公益社団法人福岡県産業廃棄物協会より FAX にて送信を行った。

4. パブリシティ・メディア対応

① 環境省ホームページへの開催結果掲載

環境省ホームページにて公表する本フォーラム／ワークショップ開催結果の報道発表の資料作成を行った。

※内容については「資料 6. 環境省ホームページ報道発表資料」を参照

② メディア取材対応

本フォーラム／ワークショップでは取材受付を行い、東京会場にて申込みのあった株式会社環境産業新聞社、株式会社資源新報社、名古屋会場にて申込みのあった株式会社鉄鋼新聞社の取材対応を行った。なお取材内容については、「ウエイストマネジメント 2 月 15 日号」（株式会社環境産業新聞社）、「鉄鋼新聞 2 月 2 日号」（株式会社鉄鋼新聞社）の記事として掲載された。

5. アンケート

① 狙い

本事業の狙いである①排出事業者・処理業者間連携の必要性の認識向上、②処理業者の優良化の機運醸成について効果を確認するためのアンケートを設計し、各会場でのフォーラム／ワークショップ終了後に参加者への回答を求めた。また、福岡会場は、第 2 部のみを集計の対象とした。

② アンケート用紙

・東京会場、名古屋会場

アンケート

この度は環境省主催フォーラム／ワークショップにご参加いただきありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご協力ください。

貴社名		お名前	

※ご記入内容を貴社名・個人名が特定されない形でウェブサイト等に掲載させていただく場合がございます。

(1) 本日のフォーラム／ワークショップは参考になりましたか？
5 段階で評価して○をつけてください(1.非常に満足 2.満足 3.普通 4.不満 5.非常に不満)。

全体	1	2	3	4	5
第 1 部【基調講演】廃棄物処理のマネジメントと戦略的連携	1	2	3	4	5
第 2 部 優良事例プレゼンテーション	1	2	3	4	5
第 3 部 ワークショップ『連携から生まれる 3Rのカタチ』	1	2	3	4	5

(2) 連携・協働による取組み推進のアイデアや気付きが得られましたか？もしくは取組みのきっかけとして役に立ちましたか？

1.とてもそう思う　2.そう思う　3.どちらとも言えない　4.そう思わない　5.全くそう思わない

【1.2 を選択された方へ】具体的にどのようなアイデア・気付きがありましたか？

【4.5 を選択された方へ】なぜそのように思われましたか？期待と異なったのはどのようなところですか？

(3) 今後、このようなイベントに参加してみたいと思いますか？

1.はい　2.いいえ

【1 を選択された方へ】具体的なご要望やアイデア等があればご記入ください

(4)【優良産廃処理業者認定未取得の処理業者の方へ】
本イベントを通して優良認定取得に対する意欲は高まりましたか？

1.とてもそう思う　2.そう思う　3.どちらとも言えない　4.そう思わない　5.全くそう思わない

(5) その他、本イベントを通してのご意見・ご感想等ございましたらご記入ください。

以上です。ご協力いただきありがとうございました。

・福岡会場

アンケート

この度は、環境省・公益社団法人福岡県産業廃棄物協会主催 環境セミナー 「連携から生まれる 3Rのカタチ」第2部ワークショップ にご参加いただきありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご協力ください。

貴社名		お名前	

※ご記入内容を貴社名・個人名が特定されない形でウェブサイト等に掲載させていただく場合がございます。

(1) 本日のワークショップは参考になりましたか？5段階で評価して○をつけてください()。

1. 非常に満足　2.満足　3.普通　4.不満　5.非常に不満

(2) 連携・協働による取組み推進のアイデアや気付きが得られましたか？もしくは取組みのきっかけとして役に立ちましたか？

1. とてもそう思う　2.そう思う　3.どちらとも言えない　4.そう思わない　5.全くそう思わない

【1.2を選択された方へ】具体的にどのようなアイデア・気付きがありましたか？

【4.5を選択された方へ】なぜそのように思われましたか？期待と異なったのはどのようなところですか？

(3) 今後、このようなイベントに参加してみたいと思いますか？

1.はい　2.いいえ

【1を選択された方へ】具体的なご要望やアイデア等があればご記入ください

(4)【優良産廃処理業者認定未取得の処理業者の方へ】
本イベントを通して優良認定取得に対する意欲は高まりましたか？

1.とてもそう思う　2.そう思う　3.どちらとも言えない　4.そう思わない　5.全くそう思わない

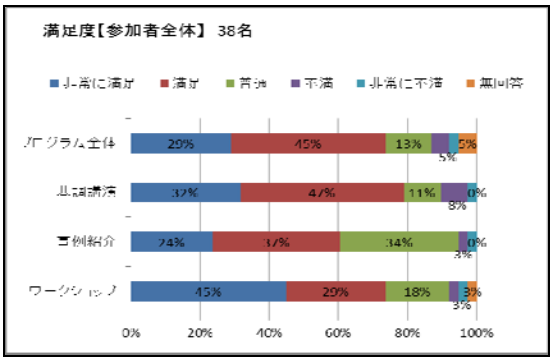
(5) その他、本イベントを通してのご意見・ご感想等ございましたらご記入ください。

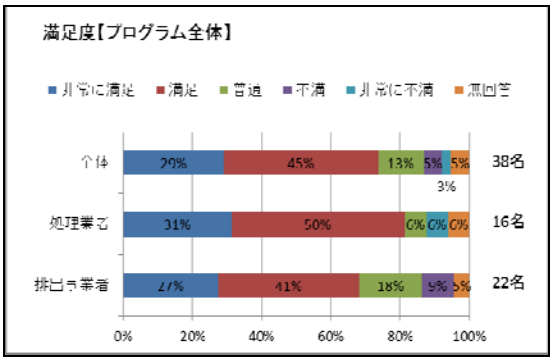
以上です。ご協力いただきありがとうございました。

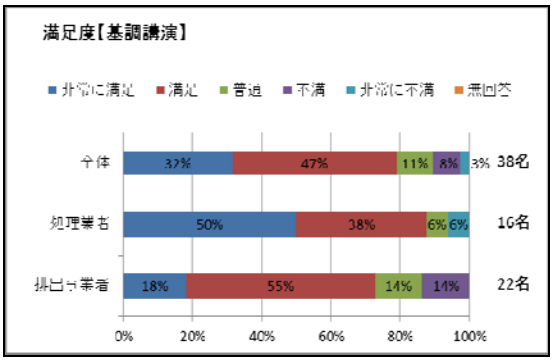
③ 集計結果

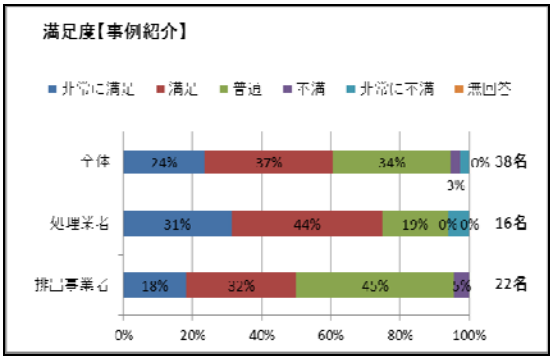
(1) 本日のフォーラム／ワークショップは参考になりましたか？
5 段階で評価して〇をつけてください(1.非常に満足　2.満足　3.普通　4.不満　5.非常に不満)。

［東京会場］

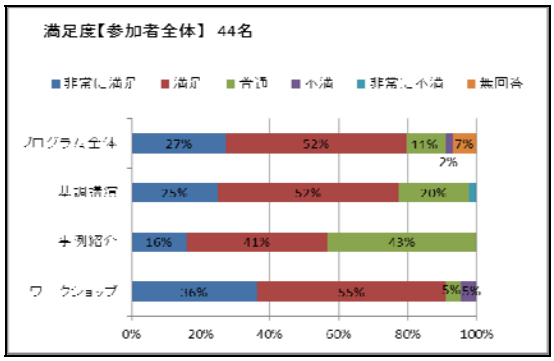


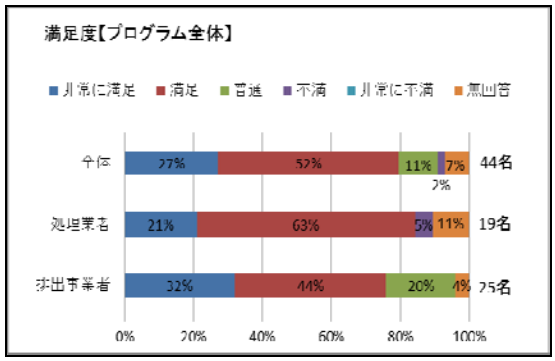


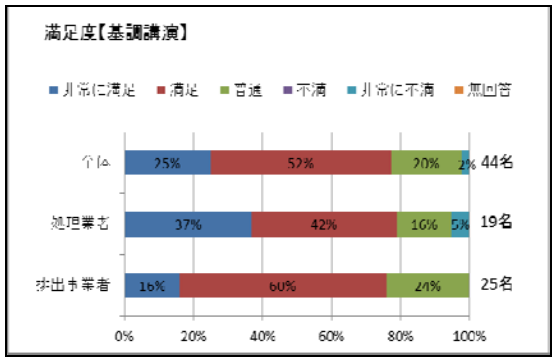


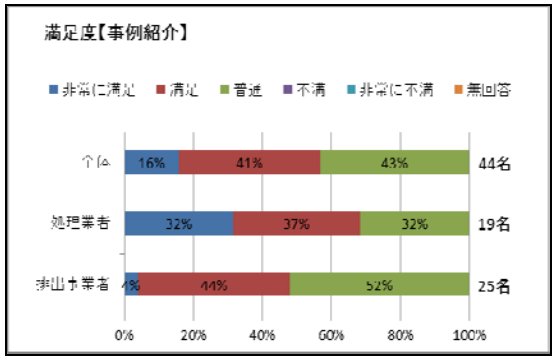


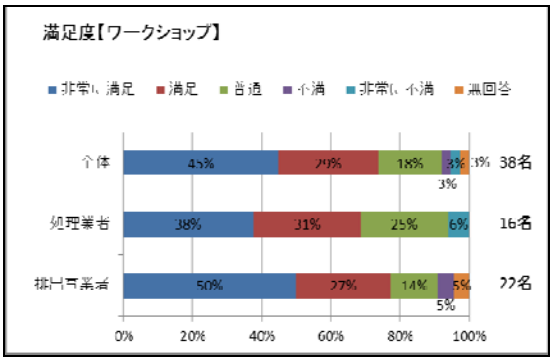
［名古屋会場］

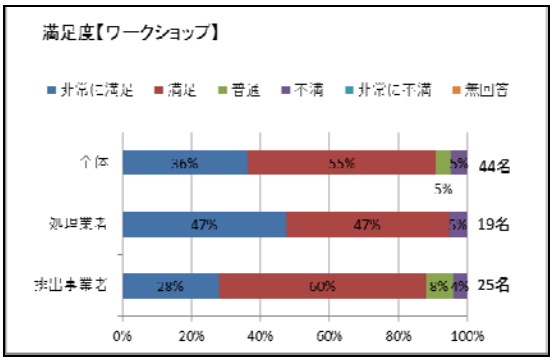




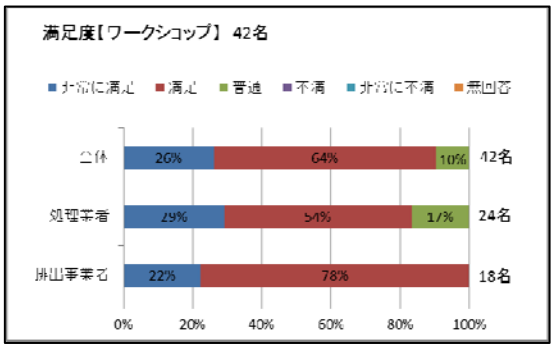






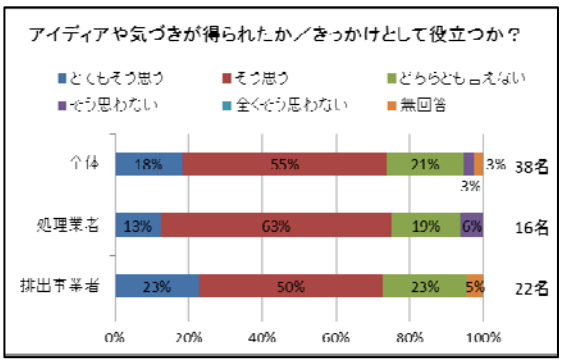


［福岡会場］　※ワークショップのみ

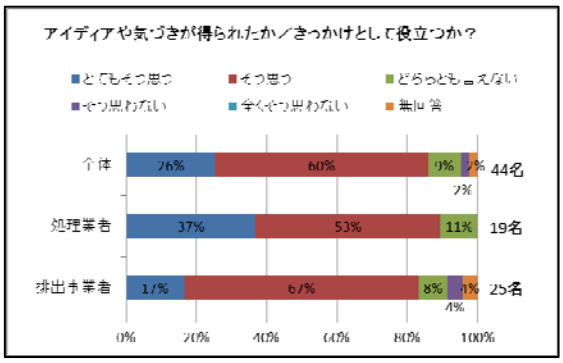


(2) 連携・協働による取組み推進のアイデアや気付きが得られましたか？もしくは取組みのきっかけとして役に立ちましたか？

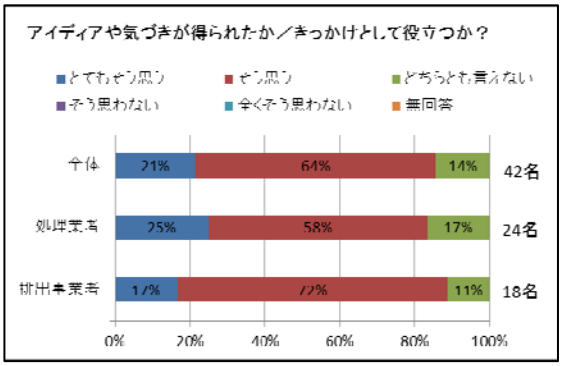
［東京会場］



［名古屋会場］



［福岡会場］



【「1.とてもそう思う」「2.そう思う」を選択された方へ】具体的にどのようなアイデア・気付きがありましたか？

［東京会場］

【排出事業者】

- 処理業者の意見を直接聞くことが出来、異業種交流が出来て良かった。
- 情報公開の必要性が挙げられたが、その中で情報の信頼性についての懸念がある。
- 逆の立場（処理業者）の方との会話にて、考え方や苦労されている点を知った。
- 排出事業者間の連携もできると良い。行政も加わり、制度自体も検討できると良い。
- 行政、制度に疑問をもつ、排出側、処理側が一致の意見だった。リサイクルしたいけど、できないのは国の問題？
- 優良のメリットは１つのツール
- 情報の共有と、当社では想定していない事例への気付きがあった。
- 排出事業場の担当者のレベルアップの必要を感じた。
- 他の排出事業者と連携することでリサイクルを推進していきたい。
- 排出事業者と処理業者が互いに理解した上で契約し、業務を委託することが重要だと分かった。
- 一社単位のリサイクル適正処理の取組みは、ある程度行きついた感じがする。もっと広い範囲でのスキームを考えたい。
- 現状の問題点も含め、情報収集方法が具体的にわかった。
- 今回のテーマ外だが、契約締結（更新）についてアドバイスをいただけてよかった。
- 別の立場の意見も聞くことができた。
- 排出事業所としてどうしたいか明確に提示しなければいけない事が分かった。
- 同じ排出事業者の強み、弱み、悩みも理解でき、自社へも取組みたい部分も吸収できた。又、産廃処分業者さんのご苦労、今後のリサイクルへの提案も参考にしたい。
- 地方を含め現場の生の声が聞けて良かった

・　現地確認は、処理業者も実施してほしいと思っていることが聞けて安心した。

【処理業者】
・　排出事業者が今何を考えているか、よく理解できた。
・　コミュニケーション（＝人間性）の必要性の再確認ができた。
・　排出事業者が処分業者を選ぶ理由は処理費、コンプライアンスの 2 点だと分かった。
・　排出事業者が義理人情（人と人とのつながり）を思っていた以上に重要視していることが分かった。
・　排出事業者様の業者選定のポイントと、現状の課題が伺えた事が良かった。
・　排出事業者が基本的なコンプライアンスの他に、人と人とのコミュニケーションに重きをおいている方が多いと分かり、営業活動の励みになった。
・　優良さんぱいナビを活用したいと思う。
・　排出事業者様とのコミュニケーションが重要だということを改めて気付かされた。
・　義理・人情、Face to face が大切だと分かった。
・　取引コストの低減、コミュニケーションの重要性に気付いた。
・　電子契約の実現をしたい。
・　自社 PR の情報発信不足（排出事業者が期待する事など）に気付けた。
・　優良認定の取得の有無を重要視している排出事業者が多く励みになった。
・　情報が多い時代だが、最終的に様々な場面で必要になるのが、面会してのコミュニケーションであると意見が多かったので、排出事業者とのコミュニケーションを密にしたい。

［名古屋会場］
【排出事業者】
・　廃棄物に関する知識をいかに末端まで使える事が必要で、それにより混入を減らせそうという事が改めて認識できた。
・　他社の取り組み（処理業者の財務状況を確認→継続的な取引・会社の安定性を判断）が参考になった。
・　立入検査の必要性を再認識した。本件実施していきたい。
・　優良さんぱいナビの活用方法がよく分かった。
・　排出業者、処理業者両方の生の声が聞けてよかった。
・　人と人とのつきあいでしか築けないものに時間をかけるべきという松永先生のお言葉が印象的だった。優良認定や公開情報を活用し、業務の効率化を図りたい。
・　下取り品の処理について広域認定を検討してみたい。
・　処理業者が直接排出事業者の口座をもって情報のやりとりをしたい。
・　排出事業者、処分業者共に情報入手に苦しんでいると感じた。
・　人間力が大事、現場・現物主義が大事だと認識した。

- 優良さんぱいナビの活用の仕方が分かった。
- 産廃処理業界では取引コストが他業界より高いと聞いて納得した。
- 直接、処理業者と話をする、分別をする、(自社で推進できる）教育をする、コミュニケーションを取ることが大事だと気付いた。
- 一般廃棄物の処理にてリサイクル出来る業者選びを教えて頂いた。
- 色々な困りごとを聞けて良かった。
- 各会社(排出事業者、処理業者とも）の廃棄物の意識の高さに感嘆した。自身のモチベーションが上がった。
- 信頼を第一として、その次に価格や利便性を重視している点について、他社の考え方と自社の考えが同じであった。
- 普段は聞けない他社・処理業者の考えや、困っていることが聞けた。
- 排出事業者、処理業者それぞれの意見が聞け認識ができた。
- 優良さんぱいナビ等大変勉強になった。
- 排出事業者としての課題について、解決への参考になるものが多数あった。

【処理業者】
- やはり人間関係が大事だと納得した。
- 参加したグループでは「信頼関係を構築すること」の重要性に注目した。適正処理を継続すること、教育、コミュニケーション等、その方法は多様であると思う。
- 制度面では、排出事業者を処理業者がサポートすることも加味してほしい。
- 排出事業者と処理業者との話し合いの場が持てたことが大切で、コミュニケーションの場は今後とも必要だと思う。
- 排出事業者が求めているもの、処理業者の思いに違いがあり、どうすれば連携できるのか気づきがあった。
- 排出事業者、処理業者の「信頼関係」が思っていた以上に重視されていたと分かった。
- どこの会社も処理業者の優良認定取得状況を確認していた。
- 優良認定を取得しているがもっとアピールをしていこうと思った。
- 自社のＰＲの仕方（得意分野・新規事業）が分かった。
- コスト競争にならないように、ブローカーの排除が必要である。
- 処理業者を検索、選定する手段、アイデアを知る事ができた。
- コミュニケーション(人と人、ＩＴ化）の重要性
- 優良さんぱいナビについて、産廃業者目録で作られていて法的分類が分からない。知識のない排出事業者が利用できるものにしてほしい。
- 処理業者の営業担当者が提供する情報に、排出事業者は期待していることが分かった。
- 排出事業者の生の声を聞けて参考になりました。
- 営業をもっと頑張らないといけないと思った。

- 排出事業者も搬出先を探し出すことに苦労していることがよく分かった。
- コストの話ばかりで少しうんざり感があったので、コストの前に信頼関係が上位であると言われて良かった。
- 処理業者の排出事業者への認知度が少ない。もっとＰＲをしたい。

［福岡会場］

【排出事業者】

- 実質的な協力ポイント等とても勉強になった。
- 写真提示と抜きうち写真という現地確認の方法が新しい発見だった。
- WEB に大きな事を書きすぎる処理業者は？
- 新規の処分先の検討等をする機会が少ない事もあり、どういった部分をみていくべきか排出事業者、処分業者の意見を聞く事ができ参考になった
- 処分業者の取組みについて知ることができた。
- ドライバーの教育、キメ細かい対応が顧客との信頼関係としてポイントになることが分かった。
- 取引先選定方法について知ることができた。
- 排出事業者・産廃処理業者の「協働」は、改めて必要があると感じた。
- 産廃業者の情報を得る事が出来た。
- 参加者の中で知識がなかったので、まずは知識をつけ、今後の産廃に役立てたい。現在の産廃業者の情報収集を行い、業者選択を見直していく。
- 優良さんぱいナビを知った
- 処理業者側の立場の意見が聞けて良かった。
- 地域による意見交換ができ参考になりました。
- 生の声が聞けたので良かった

【処理業者】

- 処分費の「安さ」が、排出者の業者選定基準では必ずしもなかったことが分かった。
- 課題の抽出が出来たと思う。排出事業者の本音が垣間見えた
- 排出事業者は、思ったより新しい処理業者を探していない。優良認定を排出事業者は特別視していないことが分かった。
- 作業服がきちんとしているかが業者選定の 1 ポイントだという点は興味深かった。
- 排出事業者の方々が何を基準に処理業者を選定しておられるのか、話を伺うことが出来た。
- 排出者と同業者の意見が聞けた事が良かったが、医療施設があまり問題をかかえていない事がある意味「気付き」ました。医療施設への業界 PR が必要と思った。
- ランキング等、やるやらないは別にして面白い意見を聞けた
- 排出事業者の求めるポイントが理解できた。

- 排出事業者の考え方、収集運搬処理業者の選び方が参考になった。
- 排出する側の意見を聞く事ができて良かった。今後、営業活動の時の参考にしていきたいと思った。
- 排出事業者さんの気持ちが、良く理解できた。
- 優良さんぱいナビの利用状況が分かった。
- 排出事業者様のニーズや、処分業者のすそのの広さが解り、連携人脈構築のキッカケになった。
- 顧客の方へのフォロー体制の見直し（教育・勉強会）を再度、定期的に行っていくことで、知識の底上げをお互いに行っていきたい。
- 排出事業者と同業者の意見が聞けた中で、排出事業者の委託先の判断と処分業者の判断が違うことがわかった。
- 排出事業者側の問題点が聞けたのは良かった。

【「4.そう思わない」「5.全くそう思わない」を選択された方へ】なぜそのように思われましたか？期待と異なったのはどのようなところですか？

［東京会場］

【排出事業者】

該当なし

【処理業者】

- 各社の考えを聞くことで、今後の社内の取組課題が見えてきた。

［名古屋会場］

【排出事業者】

無回答

【処理業者】

該当なし

［福岡会場］

【排出事業者】

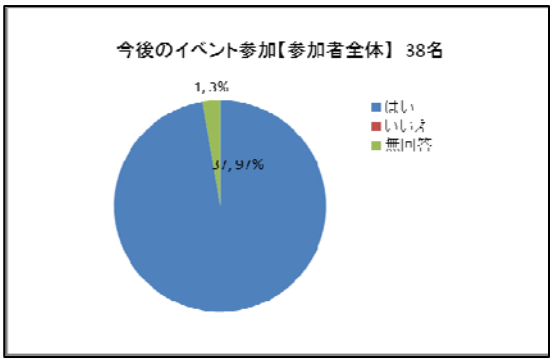
該当なし

【処理業者】

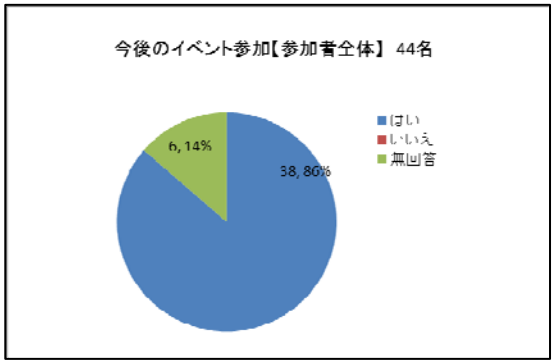
該当なし

(3) 今後、このようなイベントに参加してみたいと思いますか？

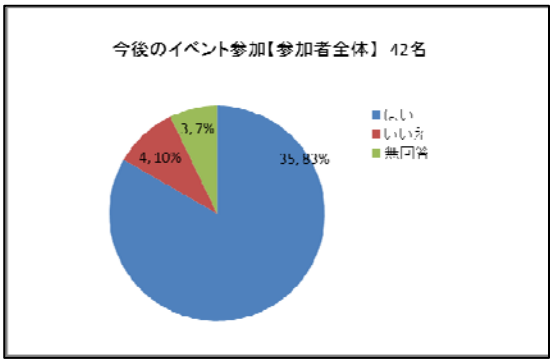
［東京会場］



［名古屋会場］



［福岡会場］



【「1.はい」を選択された方へ】具体的なご要望やアイデア等があればご記入ください

［東京会場］

【排出事業者】

- 排出事業者、処理業者に加え、行政の方の参加があると良い。行政の方からの意見も聞いてみたい。
- 排出事業者の横の繋がりに関するもの
- 廃掃法の課題、改善点の検討会
- 海外リスク
- 環境への取組みが息詰まっている中、新たな発見が出来る様なイベント
- 食品残渣リサイクルの具体的アイデア
- 本日の課題に挙がったテーマのフォローをお願いしたい。
- 処理フローをわかることでリサイクルやその他 2R につながると思うので、その情報共有した連携した仕組みが出来たらと思う。
- ループ化、飼料化した資源活用、紹介してほしい。
- 業者の選定方法や良い業者の選び方を教えて欲しい。

- 次回は、行政の担当者”も出席願いたい。
- 自社での情報収集では限界（思い込み）があるため、他社（他業種）の対応方法を勉強したい。
- 広域認定の発展的な制度を考える。
- 意見交換の場の機会がもっと欲しい。他の地域の方とも会ってみたい。
- 最新な情報収集をしたいため
- 定期的な情報交換の場があるとありがたい。

【処理業者】
- ワークショップの充実
- 行政を巻き込んだケースもいいと思う。
- 繰り返し参加する事で自社の改善を継続したい。
- いろいろな優良事例を勉強したい。
- 事業系一般廃棄の今後の動向。
- 参加されている方のレベルにかなり差があるようですので、課題別のグループに分けにして討議を行うことも必要ではないか。
- 排出事業者とのコミュニケーション
- 自治体の方の参加
- 業務効率化（電子契約など）
- 情報の共有として必要だと思う。

［名古屋会場］
【排出事業者】
- 優良産廃処理業者の個々の特性の事例。→ＰＲ点(他とは違う取組み等)
- 他業界の排出者や取引のない処理業者と率直な意見交換ができてよかった。
- 異業者の情報が新鮮で勉強になった。
- 実務上での問題点に対する解決方法のディスカッション etc
- 優良産廃業者が８００件を超えているので、優良さんぱいナビで優良のランク分けをしてもらいたい。
- いろいろな業界のご苦労を知ることができ、初心に戻ることができた点が良かった。行政への要望が直接届くようになれば更によい。
- リサイクルを重点にした交流会を開催していただきたい。
- 事前に参加企業の情報を知りたい。
- 大学の先生のマネジメント講座より、法令の勉強、廃掃法についてなど実践的なものが良いと感じた。
- 情報入手のツールの充実方法

・　特にないが、情報交換できるものがない。
・　排出事業者同志、処理事業者同志
・　廃掃法を簡単に理解できるセミナーなど
・　市町村、行政も参加して頂きたい。
・　よその会社の自慢を聞きたい。
・　今回の様にディスカッションの時間を多くとってもらう。参加企業の一覧と一言（ＰＲもしくは困っていること）を配布すればより有意義になると思う。
・　絶対今後も継続して欲しい。
・　優良さんぱいナビに環境省を入れて欲しい。

【処理業者】
・　更に深くロープレなどを入れたケーススタディ、ＷＳ活動
・　今回は「優良さんぱいナビ」がテーマでしたが、優良認定自体のメリットを引き出すあり方をテーマにしてほしいと思います。
・　行政（許認可権限行政職員）も参加望む（県・市）
・　排出業者の意見を聞きたいです。
・　排出業者さんの生の声が聞ける。
・　立場の異なる業者同士のディスカッションは大変刺激になった。
・　中部地区の特色（自動車業界）と処理業者の組み合わせで開催してほしい。
・　排出事業者側に建設会社をもっと呼んでほしい。
・　２・３回と続けてください。
・　分野限定、地域限定
・　もっと優事業者の優遇をアピールする検索を確立してほしい。
・　こういった排出先と処理会社の一堂に集まるイベント。
・　事前に(ワークショップ）内容を連絡してほしい。準備ができる。

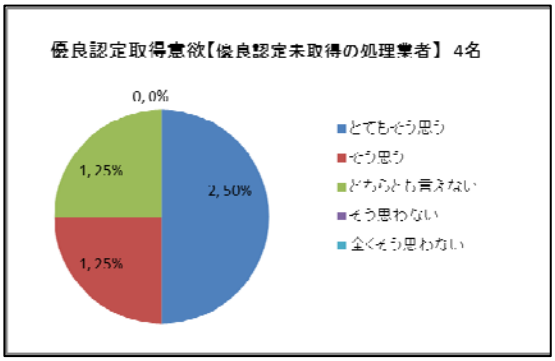
［福岡会場］
【排出事業者】
・　業界（建築）限定で、今回の様な交流はやっていただきたい。
・　リサイクル業者の話も聞いてみたい。
・　同業者（製薬メーカー生産部門）の方の意見も知りたいので、他の県で開かれた中での情報が知りたい。

【処理業者】
・　今回の宿題をもとに深度を増していきたい。
・　排出事業者や同業の普段聞けない話が聞ける。

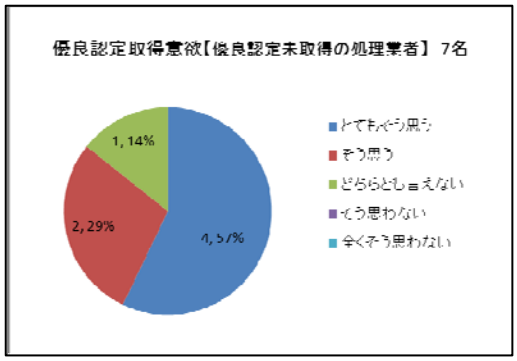
- 排出企業は千差万別なのでもっといろいろ知りたい。
- 医療施設と今回の様な形で行いたい。同業者同士でもおもしろいと思う。
- 具体的な話が聞けて参考になった。
- 行政様も参加するワークショップ
- 少し時間が不足？
- 同業者の情報が得られる。
- 話しにくい内容もあるので、テーブルはランダムがいいと思う。
- テーマは事前に欲しい（ある程度、準備したい）"
- 他社とのコミュニケーションで、時代に合った処分を行っていきたい。
- 優良産廃処理業者認定制度のメリットを増やす為の勉強会、PR 方法などあればよい。

(4)【優良産廃処理業者認定未取得の処理業者の方へ】
本イベントを通して優良認定取得に対する意欲は高まりましたか？

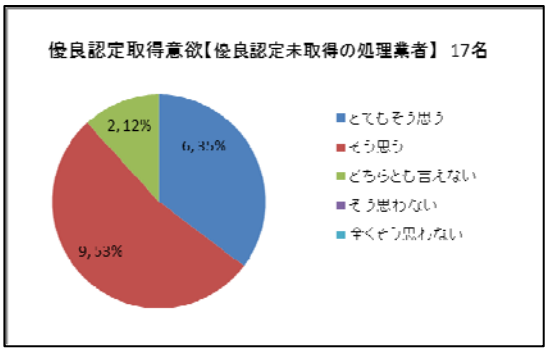
［東京会場］



［名古屋会場］



［福岡会場］



(5) その他、本イベントを通してのご意見・ご感想等ございましたらご記入ください。

［東京会場］

【排出事業者】

- 優良さんぱいナビ情報入手したので活用したい。ファシリテーター進行良かった。

- 途中退席でしたが、機会があれば参加したい。
- 食品関係、電機関係と分けてそこで具体的な話しの聞けるイベントであれば、より自社に活かせる。
- 現場集団イベントもおもしろく、活用できるアイデアがたくさんあった。ありがとうございました。
- 産廃業者と排出事業者のバランスは調整が必要。
- もっと生々しい産廃業者の声が聞けたらよかった。放射線をおびたフィルターについての処理対応を教えてほしい。
- ワークショップの時間が長くてダレてしまった。
- 情報交換が出来て良かった。

【処理業者】
- 排出事業者様との多々意見を聞けて良かった。
- 来年からは、行政の方も参加して頂くと良い。
- 速やかに社外の人も巻き込んだ自由に討論できる「廃棄物リサイクル研究会」を立ち上げたい。
- 排出事業者様、産廃業者が 1 つのテーブルに着いて討議を行うことは、これまで経験がなく、貴重な体験となった。ありがとうございました。
- 排出事業者の生の声を聞けて良かった。

［名古屋会場］
【排出事業者】
- 今回、具体的に処理方法を変えたいと思っている品目について、処理できる業者を探すためと思っていたが、大きな流れのミーティングであり、残念であった。
- 参加企業、参加者名を知ることが出来れば更によかった。
- 参加者の名簿があれば関係企業との交流もできると思う。
- 各チームにコーディネーターさんが入りこんでいただいて、スムーズに進めた。
- 発表があるとは知らず、緊張した。
- 会場が狭かった。
- かばんや上着、傘を置くスペースがなく、机周辺がとてもせまく感じたのでクロークの置場を設けて欲しい。
- 若手社員を参加させて知識と意識を上げさせたい。
- 討議時間が足りない。
- 一方通行のセミナーよりお互いの意見交換ができて良かった。
- 教育用の DVD もしくは動画を作ってほしい。
- 930 名の社員にも今日の内容を伝えたい。

【処理業者】

- 条例、法規リサイクル技術、新情報など、環境全般など、定期的な勉強会も必要かもしれない。
- 信頼関係構築のため、来社されるお客様ともよくコミュニケーションをとる必要を感じた。
- 優良認定業者への現地確認免除は、メリットばかりでもないように思った。
  県外搬入手続きの話は今回出ませんでしたが、優良産廃業者であれば免除されるメリットは大きいと思う。
- 排出事業者・産廃処理事業者・行政がザックバランに意見交換できることが理想。
- 普段接することのない方々と話す機会ができて良かった。
- 制度やシステムを有効活用したい。
- いろいろな意見が聞けて非常に勉強になった。
- 会場はもう少し広いと良い。
- 優良さんぱいナビの認知不足がよく分った。

［福岡会場］

【排出事業者】

- 一方的にならず話し合いができとても有意義な時間だった。排出事業者の意見（現状）をもっと知りたい。成功事例の共有ができる場が欲しい。
- ワークショップは大変有意義だった。
- 生（現場）の情報が聞けたことがよかった。共通の問題が確認できたことは意義があり、このような場が年に 1 回だけでなく、3〜4 回あったらいいと思う。
- 時間が少ない。
- さまざまな業者の方の意見が聞けて、とても勉強になった。参加させていただきありがとうございました。

【処理業者】

- シリーズ化をしてはどうか。討議時間はもう少し余裕があってもいいと思う。
- 優良さんぱいナビは良いツールと思う。多くの業者が、情報提供の場として活用すべき。
- 初めてでしたが、勉強になった。業種別でもっと濃い形で行いたい。
- 時間、進行共にとても良かった。県外から参加したが有意義な一日になった。
- 最終処分業者である当社はワークショップにフィットしないところがあった。県内中間処理業者だと話がかみ合ったかもしれない。
- 懇親会等を行うと、もっとコミュニケーションが取れるのでは？

III. 総括

1. 排出事業者及び処理業者間の連携の促進について

・ プログラム全体の満足度は概ね高く（「非常に満足」及び「満足」の割合：東京 74%、名古屋 79%、福岡 90%（福岡はワークショップのみ））、アンケート回答者の大多数（東京 97%、名古屋 86%、福岡 83%）がこのような企画があれば次回も参加したいとの回答であった。定期的な開催や、地域・業種に絞った意見交換会の開催などの要望があり、参加者からの期待は非常に大きい。

・ ワークショップから、排出事業者はコスト最優先ではなく、法令順守ができているか、処理業者やその営業担当者を信頼できるか、という観点でも処理業者を決定していることが明らかになった。また、処理業者との連携を促進するため、排出事業者は廃棄物処理や管理に関する社内教育を行うこと、本社と事業所との情報の差をなくすこと、契約書等社内手続きをスムーズに行える仕組み作りなどが課題に挙げられた。処理業者からは、排出事業者はコスト重視だと思っていたが、法令順守や現地確認への対応等日常の取組みが排出事業者にもきちんと評価されていることを聞けて安心した、との意見が多数あり、「排出事業者と産廃処理業者との相互理解促進」という目的は十分な水準に到達したと考えられる。

・ アンケートの回答の中には、今後も同様のイベントを継続的に実施してほしい、地域・業種に絞る、行政も交えて実施してほしい等、今後の継続的な開催を期待する意見も見られた。排出事業者と処理業者との連携のためにはコミュニケーションの促進が必要であることは明白であり、今後も継続的な開催が求められている。

・ 廃棄物処理の課題は地域性や業界の特性によるものもあり、個別の意見交換の方がその後のアクションにつながりやすい。また地域の課題については行政との連携が不可欠であり、地域を限定して地方行政を含む三者による意見交換会を実施することで、より深い相互理解につながると考える。

【排出事業者及び処理業者間の連携の更なる促進（案）】
- 全国の主要都市にて、行政・排出事業者・処理業者との意見交換会の開催
- 業種別での意見交換会の開催

2. 処理業者の優良認定取得の機運醸成について

・ イベント実施後の認定未取得者の認定取得に対する意思について、東京では「とても

高まった」「高まった」が 75%、名古屋では 86%、福岡では 88%との結果となり、一定の効果は認められた。

・ 優良認定取得のメリットの一つとして優良さんぱいナビの利用があげられるが、排出事業者の約 65%、処理業者の 40%弱が利用していないことが分かった。利用していない理由として、排出事業者は「知らなかった」、「産廃情報ネット『さんぱいくん』を使っているから」という理由が多く、処理業者では「排出事業者が利用していないから」という理由が見られた。一方、優良さんぱいナビを活用している処理業者からは、「優良認定を取得していることが排出事業者の選定基準になる」、「信用につながる等企業価値の向上につながることを期待する」という声もあり、排出事業者へのＰＲと、活用してもらえる仕組みが必要だということが分かった。

・ ワークショップでは、優良さんぱいナビの方向性として、処理業者の強み・アピールポイントの掲載、処理フロー図の掲載、排出事業者からの口コミや評価等が見られるような仕組みといった要望があった。許可情報だけでなく実態が分かる情報提供があると利用が促進されると思われる。

【優良さんぱいナビの利用促進（案)】

- 業界紙、業界雑誌への広告宣伝
- 排出事業者がよく閲覧する Web サイトとの連携
- 優良さんぱいナビの機能強化及び処理業者による活用の促進

3. 運営面について

・ ワークショップのテーマを事前に知りたいという意見があった。より有益な意見交換のために、参加証送付の際にテーマを伝えることが考えられる。

・ 本フォーラム／ワークショップでの気づきを業務につなげやすくするために、ワークショップの記録を何らかの形で参加者へフィードバックすることが考えられる。

・ 名刺交換会では、どうしても一部の参加者しか名刺交換ができない。東京会場・名古屋会場では、主に排出事業者より「具体的な廃棄物について処理業者と直接意見交換がしたかった」という要望があったため、福岡会場では参加者に参加企業一覧を配布したところ、グループを超えた活発な名刺交換会となった。今後も同様に、主催者側からの仕掛けが必要である。

以　上

【別添資料】

資料 1. 参加者グループリスト及び事前アンケート一覧
資料 2. 講演資料（第 1 部・第 2 部）
資料 3. フォーラム・ワークショップ実施風景記録
資料 4. ワークショップアウトプット（グループ発表時資料のみ）
資料 5. アンケート回答結果一覧
資料 6. 環境省ホームページ報道発表資料

以　上